

前方不注意、追突 「前をよく見ていなかった」

バス停に停車中のバスに車追突 乗客4人軽傷

2015年10月14日(水)

13日夜、東京都でバス停に停車中の40人ほどの乗客が乗った都営バスに乗用車が追突した。この事故で、バスの乗客4人が軽いケガをしたほか、乗用車の運転手の男性は左腕の骨折の疑いがあるという。男性は警視庁の調べに対し、「前をよく見ていなかった」と話していて、警視庁は男性の前方不注意が事故の原因とみて調べている。

“強風時”は、「ユニック作業」中止！

“重大事故”が多発する「薄暮れ時」に要注意

ドライバーは、“こまめに休憩！”
“重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

十勝管内の労災事故 ⇨ “墜落・転落”が30%
“40歳～50歳台”の“ベテラン”が多い

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる
車間不足と注意力不足

“うっかり・ほんやり”による交通事故を防止しましょう

「慣れ」、「過信」を捨て、
誰もが安心して働ける職場づくりの実現

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認／よ～し！」

◆路側帯に停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から◆
◆渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない◆

大型トラックが車線変更、接触、信号待ち車に追突

2015/10/13(火)

13日午後2時40分ごろ、大分県で、交差点を右折しようとしたトラックが車線変更したところ、乗用車に接触しました。この衝撃でトラックが信号待ちをしていた乗用車に追突するなど合わせて5台が絡む多重事故となりました。この事故で、50代の女性と40代の男性が軽いけがをしました。

男性と盲導犬、バックしてきたトラックにはねられ死亡

バック警報音の義務化を求める声

2015年10月10日(土)

徳島県で10月3日、視覚障害のあるマッサージ師の男性(50)がバックしてきたトラックにはねられ死亡し、一緒にいた盲導犬も巻き添えで死んだ。男性は長年、視覚障害者への理解を求める講演活動に携わっていた。トラックにはバックの際に警報音声を鳴らす装置があったが、スイッチが切られていたことが判明。警報音声の装備は法令で定められてはいないが、今回の事故を機に義務化を求める声もあがっている。

午後6時 「考えごとをしていて、前をよく見ていなかった」

横断中の83歳男性はねられ死亡

2015年10月13日(火)

12日午後6時半ごろ、佐賀県で、道路を横断していた男性(83)が乗用車にはねられ、死亡が確認されました。男性は、近くの駐車場に車を止め、道を挟んで反対側にある飲食店に行くために道路を渡っていたとみられています。現場は片側1車線の見通しの良い直線道路で、車を運転していた男性(76)は、警察に対し、「考えごとをしていて、前をよく見ていなかった」と話しているということです。警察は、乗用車の男性の前方不注意が事故の原因とみて調べています。

道路脇にいた、舗装作業の71歳女性はねられ死亡

2015年10月10日

10日午前9時すぎ、山形県で、デイサービス施設の利用者を送迎する車が、駐車場の舗装作業をするため道路脇にいた男女2人を次々とはねました。2人のうち女性(71)が胸を強く打ち、病院に運ばれましたが、およそ1時間後に死亡が確認されました。また、60歳の男性も足に軽いけがをしました。